

2026年度 国際リベラルアーツ学部 FD 活動方針・活動計画

2026年度国際リベラルアーツ学部では、全学のFD方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 長期的な教育能力及び学習能力の構築・強化

【目的】

- ・効果的な教育と学習のための学習理論の理解
- ・デジタルリテラシーの育成

【実施内容】

- ・動機付け理論を軸に、バリューエンハンスメントやさまざまな種類の動機付けと概念について考察し、学生の学習意欲を高め、効果的な学習を支援する方法をより深く探求・理解する
- ・AIツールが急速に進化する中、教師は学問的誠実さを損なうことなく、それらを授業に取り入れるスキルを身につけなければならない。教師が効果的かつ責任あるAIの利用を実践することで、学生が今後必要不可欠なデジタルリテラシーを身につける支援をする。

2. 学生の構成が変化する中での最適な授業づくり

【目的】

- ・多様で変化し続ける学生のニーズに応える効果的な指導法を共有する
- ・教員間の連携と専門能力開発を強化し、柔軟で包摂的な授業設計を共同で開発する

【実施内容】

- ・ベストプラクティス「インサイト・セッション」：授業評価の高い教員が、多様な学習者の背景、能力、および教室の雰囲気に合わせて工夫した、効果的な授業計画や学生の関与を促す方策について、体系的に共有・実演する。特に、言語能力、文化的背景、学力レベル、授業中の集中力の持続力などの変化に応じて、指導方法をどのように調整しているかに重点を置く。
- ・共同チームビルディング演習：コミュニケーションと学際的な連携を強化することを目的とし、グループでの問題解決課題に取り組む。この活動を通し、指導スタイルの調整、共通の教育目標の明確化、そして結束力のある学習環境を築くために不可欠な相互信頼の構築を試みる。

【暫定スケジュール】

Session1：6月中旬

Session2：9月下旬

Session3：11月中旬～下旬

Session4：1月中旬～3月中旬

以上